生命（いのち）のにぎわい調査団

生命（いのち）のにぎわい通信

第 43 号：発行　平成 29 年（2017 年）7 月

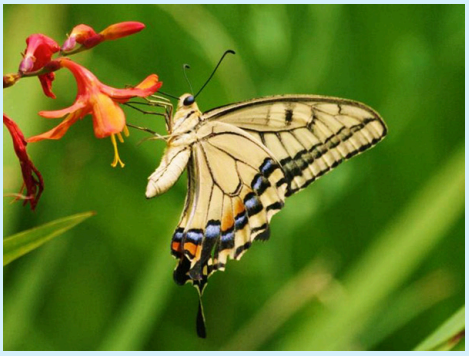
発行：千葉県環境生活部自然保護課
千葉県生物多様性センター
〒260-8682　千葉市中央区青葉町 955-2
（千葉県立中央博物館内）
TEL 043-265-3601　FAX 043-265-3615
URL http://www.bdcchiba.jp/monitor/
E-mail monitor@bdcchiba.jp

千葉県のアゲハチョウ大集合！

「揚げ羽」姿勢の写真で紹介します

アゲハチョウの特性：①♂よりも♀の方が大きい。
②春より夏に見られる個体の方が大きい。
③ジャコウアゲハ以外の♂は地面で吸水をする。
④ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ以外は後翅に尾状突起がある。

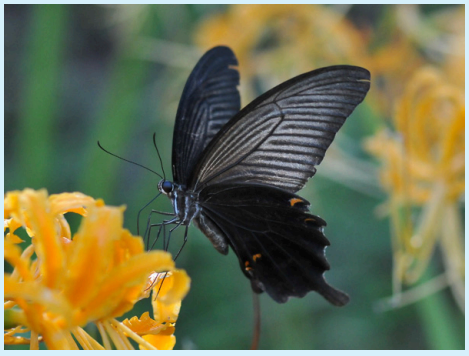
アゲハ♂　a0826
前翅長 35 ～ 60mm
都市部でもよく見られる。前翅の付け根にスジ状の模様あり。色が濃い個体はキアゲハに似るため注意。食草はミカン、サンショウなど



キアゲハ♂　a0284
前翅長 36 ～ 70mm
草地などひらけた環境を好む。前翅の付け根はスジ状にならない。色が薄い個体はアゲハに似るため注意。食草はセリ、ニンジンなど

アオスジアゲハ♀　a0261
前翅長 32 ～ 45mm
雌雄同色で青い帯が鮮やか。高い木の上を飛ぶ事が多く、速度も速い。♂はよく水を飲みにくる。食草はクスノキ、タブノキなど

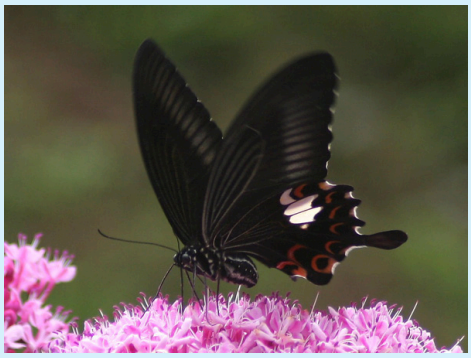
ナガサキアゲハ♂　a0826
前翅長 60 ～ 80mm
大きい。雌雄とも前翅の付け根に赤い斑、♀は後翅に大型の白斑あり。本州の個体群は尾状突起がない。食草はナツミカン、ユズなど



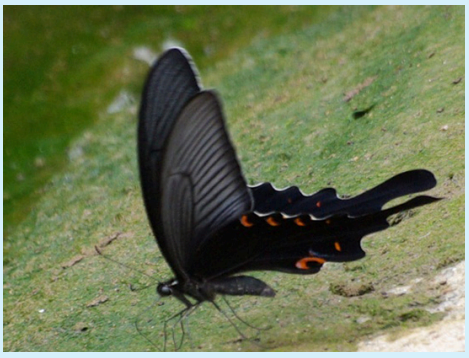
クロアゲハ♂　a0261
前翅長 45 ～ 70mm
普通にみられる大型のアゲハ。尾状突起は短め。♀は前翅が褪色したような褐色になる。食草はミカン、キンカンなど

カラスアゲハ♂　a0512
前翅長 45 ～ 80mm
翅にカラスのような青い光沢。閉じると前翅の白い帯が目立つ。♀は緑色光沢があり、前翅の光沢は弱い。食草はカラスザンショウなど

ジャコウアゲハ♀　a0189
前翅長 42 ～ 62mm
♂は翅が黒く、体は赤い。♀は翅が薄い褐色。ふわふわと漂うように飛ぶ。羽化時によい香りを発する。食草はウマノスズクサなど



モンキアゲハ♀　a0466
前翅長 50 ～ 75mm
大型のアゲハで、白斑が大きく目立つ。暖かい地域の雑木林周辺を好み、北総ではあまり見られない。食草はカラスザンショウなど



オナガアゲハ♂　a0285
前翅長 47 ～ 68mm
クロアゲハに似るが、翅が細長く、尾状突起が長い。北総ではあまり見られない。食草はコクサギ、サンショウなど

最新の生物多様性に関する情報、各種講習会の情報は、当センターと調査団のホームページをご覧ください
「生物多様性センター」http://www.bdcchiba.jp/　「調査団」http://www.bdcchiba.jp/monitor/index.html

生き物報告をお待ちしています！

「生命のにぎわい調査団」ウェブサイトをご覧ください

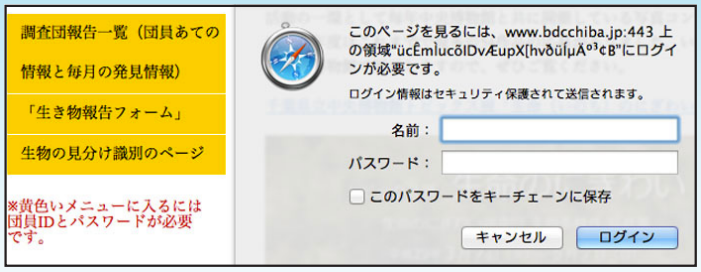


図１　団員ページ入り口

「生命のにぎわい調査団」ウェブサイトには、団員だけが見られるページがあります。図１の「名前」の枠にａから始まる４桁数字の団員ＩＤを、「パスワード」の枠に入団時にお知らせした５文字のパスワードを入力すると、団員ページを見ることができます。

たとえば「調査団報告一覧」では団員の皆様からいただいた報告（月別）や、図２のような分布図もご覧いただけます。「生物の見分け識別のページ」には、「カワウとウミウの見分け方」、「メダカとカダヤシの見分け方」など報告時の生き物の識別に役立つ情報が満載です。

「生き物報告フォーム（図３）」での報告は、昨年度初めから新システムに変わり、これまでよりも入力が簡単になりました。発見場所の緯度経度は、地図上でその地点をクリックするだけで入力することができ、生き物の写真の添付も簡単です。

まだお試しになっていない方は、ぜひこの団員ページで入力してみてください。図２のウシガエル分布図でもわかるように、県南部・東部の情報が特に不足しています。他地域にお住まいの方も、お出かけになることがありましたらぜひ報告をお願いします。皆様からのたくさんのご報告をお待ちしております。

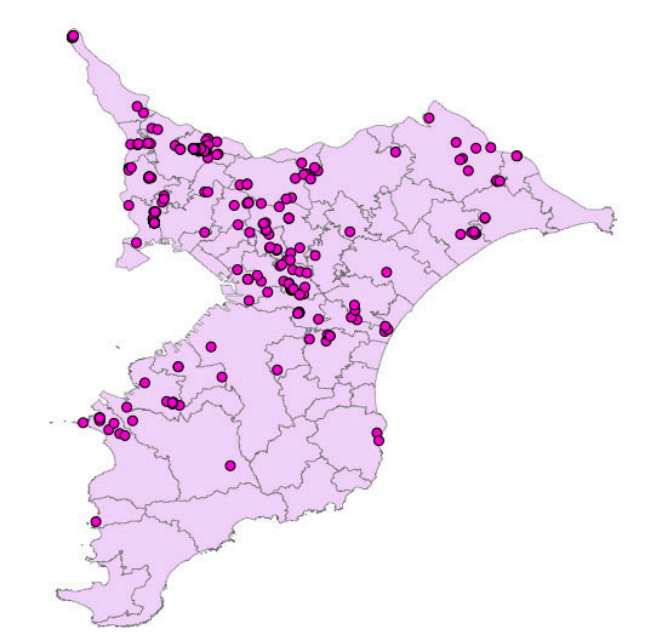


図２　ウシガエルの分布（報告件数 308 件）

図３　生き物報告フォーム

平成 29 年度 第１回 現地研修会（５月 13 日）は佐倉市畔田谷津での開催を予定していましたが、残念ながら雨のため中止となってしまいました。

平成 29 年度 第２回 現地研修会は

平成 29 年 10 月 14 日（土）と 10 月 17 日（火）

の２日間、同じプログラムで開催を予定しています。

詳しくは次号の通信をご覧ください！

＜これからの季節に観察できる生きもの＞

○調査対象種：セミの仲間、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、サワガニ、ヤマユリ、オオフサモ（外）など

○調査対象種以外（種の同定が難しいため、できるだけ写真の添付をお願いします）

＊渡りのシギ・チドリ類、サシバなどの猛禽類　＊各種昆虫（とくにトンボ・チョウ）、両生類、爬虫類など

＊希少生物（生息・生育数が減少している生物）や、外来生物の報告も受け付けています。

千葉県立中央博物館 平成 29 年度企画展 きのこワンダーランド 1期 7/22(土)▶9/10(日) 2期 9/16(土)▶12/27(水)

メールアドレスなど、団員登録情報に変更がありましたら、事務局までお知らせください